

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	仙波 千浩	学校名	宇都宮市立宮の原中学校（栃木）
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	3年6組（32名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2020年8月～10月（全10時間扱い）		

【実施概要】

1. 単元名（活動名）：暮らしを見つめよう！～SDGs for Utsunomiya～						
2. 実践する教科・領域：		3. 学習領域				
総合的な学習の時間			1	2	3	4
		A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		B グローバル社会	相互依存	情報化		
		C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
		D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：						
・衣類などを通じて自分たちの暮らしと発展途上国とのつながりを知り、学校に行けないことがもたらす問題について、SDGs と関連付けて理解する。（知識・理解）						
・学校に行けないことがもたらす問題について考え、自分の思いや考えを述べることができる。（思考・判断・表現）						
・授業で関心を持ったSDGsのゴールについて発信することを通し、地域に関わろうとする。（学びに向かう力）						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	自分たちの暮らしと発展途上国とのつながりを知り、学校に行けないことがもたらす問題について、SDGs と関連付けて理解している。				
	②思考力、判断力、表現力等	学校に行けないことがもたらす問題について考え、自分の思いや考えを述べることができる。				
	③学びに向かう力	授業を通じて関心を深めた SDGs ゴールのポスター作成、発信を通じて、地域に関わろうとしている。				
6. 単元設定の理由・単元の意義 （児童/生徒観、教材観、指導観）	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>本単元では、自分の暮らしと SDGs のつながりを発見させ、SDGs のゴールの背景にある諸問題をジブンゴトとして考えさせる。その問題は決して自分の暮らしとは程遠いものかもしれないが、困った現実と向き合っている人がいる中で今自分にできることは何なのか考えさせたい。そして、本校では SDGs の認知度はまだまだ低いと考えたため、フォトレポートやポスターの作成を通じて、自分たちが持続可能な社会の創り手であることを意識させたいと思った。</p> <p>感染症予防の観点から、グループワーク等に制限があるが、学校行事等も中止になっている今、この活動を通して級友と協力することで視野を広げさせたい。また、この課題を考えることで社会に貢献できる人に成長してほしいと願っている。</p>					

	<p>【児童／生徒観】</p> <p>本校3年生は年度当初、SDGsについて知っている生徒はほとんどいなかった。しかし、外国の様子の写真やニュースの記事などを見せると興味を示し、さまざまな意見を主張する様子が見られた。卒業学年で進路を意識し始めたこともあり、社会情勢にも興味を持つようになってきている。今後は授業を通して社会参画の意識も芽生えさせ、持続可能な社会の担い手としての自覚を持たせたい。</p> <p>【教材観】</p> <p>生徒たちは普段ものに溢れる豊かな生活をしていて、そこに疑問を感じることはあまりない。その一方、世界には様々な困難と向き合いながら生活している人もいる。今回はSDGsを用い、自分の生活を振り返ることで社会の課題を身近に感じることができると考えた。また、生徒が世界で起きている出来事について共感的に考えながら取り組むことができるよう、扱う内容を子供や学校に関わることや、生活に身近な話題などにした。</p> <p>本単元は、本校3学年の総合的な学習の時間の課題学習として取り組む。汎用性も意識し、どの先生でも取り組みやすい内容になるよう工夫した。全10時間の課題学習なので、多くの学校で総合的な学習の時間に取り組みやすい時数だと考えている。</p> <p>【指導観】</p> <p>本単元では、まずDVDや写真から様々な課題を知ることから始めたいと考えた。また、その課題について考え、共感したり、何か行動したいという気持ちを持たせることができるように指導したい。そして、単元の中でレポート作成やポスター作りを通して、自分の意見を他者に発信する力を身につけさせたい。その中で、指導をする際には生徒の学力差や、生活経験の差もあることに留意し、読み物資料や写真などを用いて生徒たちが様々な情報を教室で得ることができるよう工夫する。</p>
--	--

7. 単元計画（全10時間）

※全体の総時間数や「本時」の記入場所は適宜変更してください。

時	ねらい	学習活動	資料など ※：JICA リソース活用はここに記載
1	<ul style="list-style-type: none"> SDGs について知る。 自分たちにも社会のためにできることがあることを考え、社会参画への興味を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニクロ「服のチカラプロジェクト」への参加 DVD を見る。 	ユニクロ「服のチカラプロジェクト」DVD
2 3 本時	<ul style="list-style-type: none"> 衣類などを通じて自分たちの暮らしと発展途上国とのつながりを知り、学校に行けないことがもたらす問題について、SDGs と関連付けて理解し、解決法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真とメッセージカードを組み合わせる。 学校に行けないことがもたらす問題を付箋に書き、関連付ける。 水、教育、貧困に関するデータを見る 大切にしたいゴールをランキングする。 	JICA「どうなってるの？世界と日本」 JICA「photo library」 写真 データ
4 5	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活の中で見つけた SDGs についてレポートにまとめ、それについて思ったことを発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時まで、町や学校の中で SDGs と関わると生徒が考えて撮った写真思うところの写真を撮っておく。 (写真でなく、新聞記事やネットニュースなどでも可とする。) 	生徒がとった写真

		・写真について思ったことをレポートにまとめる。	
6	・友人のレポートを鑑賞し、SDGs に関する新たな視点に気づく。	・友人のレポートを見て、コメントカードにコメントを記入する。	レポート コメントカード
7	・SDGs を宇都宮市民に発信するための準備を行う。	・自分の発信したい SDGs のゴールを1つ選ぶ。 ・興味のあるゴールをどのように発信するかを考える。 ・同じゴールを選んだ人同士で話し合い、考えを深める。	本校ブックワゴン SDGs 関連資料
8 9	・SDGs ポスターを作ろう！	・前時に話し合ったことを元にポスター制作をする。	本校ブックワゴン SDGs 関連資料
10	・SDGs ポスター鑑賞会	・友人のポスターを見て、コメントカードにコメントを記入する。 ・単元全体の活動を振り返りシートで振り返る。	ポスター コメントカード 振り返りシート

8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：衣類などを通じて自分たちの暮らしと発展途上国とのつながりを知り、学校に行けないことがもたらす問題について、SDGs と関連付けて理解し、解決法を考える。

※過程の網掛け部分は適宜変更下さい。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
1 時間目 導入 (5分)	<p><前時に鑑賞した DVD の内容を振り返る></p> <p>「服のチカラプロジェクトの DVD で印象に残った場面はどの場面でしたか。」</p> <p>「DVD を見て、どんなことを考えましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じ年代の子供でも全然違う生活をしている人たちがいると思った。 ・難民は大変だと思った。 	友人の発表を興味を持って聞ける雰囲気づくりをする。	SDGs ロゴ (黒板に掲示)
展開 1 (5分)	<p>【テーマ①私たちの暮らしを振り返る】</p> <p><途上国と生活のつながりについて考える> (小グループ)</p> <p>「私たちが今、着ている服はどこで作られているのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育着には” Made in Japan ” と書かれている 「実は” Made in Japan ” と言われるのはこんな商品です。」 ・知らなかった 「先生が持っている服を紹介しましょう。」 ・バングラデシュで作られている服があるんだ 		JICA 「どうなってるの？世界と日本」 パワーポイント 世界地図



<p>(5分)</p> <p>・ベトナムってどんなところなんだろう</p> <p>「では、私たちの服の多くはどんなところで作られているでしょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国 ・ベトナム ・インド <p>「なぜたくさんの服が、ベトナムやバングラデシュで作られているのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安く作れるから <p>「なぜ安いのですか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃金が安いから <p>「これらの国はどのように呼ばれますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展途上国 <p>「他にどんなものが発展途上国で作られていると思いますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョコレート？ ・石油？ <p>(5分)</p> <p>「クイズに取り組んでみましょう。」</p> <p><カカオ、タコ、石油など、生活に身近なものがどんなところで作られているか、ヒントをもとに産出国名を答える></p> <p>(20分)</p> <p>【テーマ② SDGs × 子どもたち】</p> <p>「それでは、今出てきた国で暮らしている子供たちがどんな生活をしているか見てみましょう。」</p>	<p>教師の持っている服からベトナム、バングラデシュなどで作られた服を見せる</p> <p>(コロナ等感染症の影響がなければ、実物教材として衣類を生徒に配布し、生産国を探らせたい。)</p> <p>ワークシートグラフのA,B,Cの国を予想する。</p> <p>ワークシートのクイズに取り組む</p> <p>生徒が共感的に理解できるように、子供たちの写真を見せる。</p>	<p>JICA「photo library」ACE「子どもたちに幸せを運ぶチョコレート」内 写真</p>
<p>・水くみをしているところ</p>	  	

<p>(15分)</p> <p>まとめ (5分)</p>	<p><SDGsの中で自分が大切にしたいことを選び、ランキングを作る></p> <p>「今、いろいろな問題点に気づいた人も多いと思います。こうした問題を解決するために、世界の合意のもとにSDGsというゴールがつくられました。」</p> <p>「では、あなたがSDGsの中で大切にしたいことは何ですか？ランキングにしてみました。」</p> <p>「なぜそのランキングにしましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが学校に行けないのはかわいそうだから教育が一番大切だと思った。 お金があれば解決することも多いから貧困問題の解決が大切だと思う。 <p>・宮の原パスポートにも感想を記録する。</p>	<p>理由も尋ねることで考えを深めていく。</p>	<p>・宮の原パスポート (国際理解教育用の振り返りシート。年間を通して使用)</p>
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <p>・衣類などを通じて自分たちの暮らしと発展途上国とのつながりを知り、学校に行けないことがもたらす問題について、SDGsと関連付けて理解し、解決法を考えることができたか。（ワークシート記述）</p>			
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>本時では、充実した話し合いができるように小グループを編成し、話し合い活動を中心に進めていく。また、本時実施後は、図書館司書の先生にも協力していただき、SDGsに関する本を生徒たちの手に取りやすいところへ置いてもらう。最後に制作するポスターは近隣小学校や地域商店などに発信したいと考えている。</p>			
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>本授業を学年全体で取り組むことで、学年の先生方へも開発教育を広めていく。今回の研究授業を校内の先生にも周知し、先生方に自由に参観していただきたいと考えている。また、学校HPでも取組を発信し、多くの人に開発教育の取組を広げていきたい。</p>			

【自己評価】

<p>12. 苦勞した点</p>	<p>※学習活動が展開する中での苦勞や、そこで見えてきた問題点を記入して下さい。</p>
------------------	--

13. 改善点	※実践を再度実施することや、他の学校で追試する場合のことを想定して、改善点を示して下さい。
14. 成果が出た点	
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	※この單元における学習者の変容が読み取れることを意識して下さい。記入者が文章記述を通して「このように変容した」と教師の言葉でその見取りを書くことも可能ですが、できる限り学習者本人の言葉や作品で示していただくことにより、具体性、説得性の高いものになります。
16. 授業者による自由記述	

参考資料：

※単元を構想、実施する上での教師のための参考資料、学習者のための参考資料、ウェブサイト、データリソースなどを紹介してください。

- ・Unicef 「Progress on household drinking water, sanitation and hygiene, 2000-2017」
<https://data.unicef.org/resources/progress-drinking-water-sanitation-hygiene-2019/>
- ・konoema 「成人の識字率」
<https://jp.knoema.com/atlas/topics/%E6%95%99%E8%82%B2/%E8%AD%98%E5%AD%97%E8%83BD%E5%8A%9B/%E6%88%90%E4%BA%BA%E3%81%AE%E8%AD%98%E5%AD%97%E7%8E%87?type=maps>
- ・WFP 「ハンガーマップ」